

<b>取扱説明書</b>		<b>図番</b>	<b>0248K-01</b>
<b>品名</b>	<b>FW-5HB-15</b>	CAD	PC-01/D/0200/0248
対応ケーブル	5C-FL, 5C-HFL, 5C-FB	発行年月日	09年5月26日

① 準備	<p>使用工具</p> <p>ナイフ (カッター) ニッパー スパナ (口幅 14mm) トルクレンチ 12×8.0N・m(80Kgf/cm) 12×2.0N・m(20Kgf/cm)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>適合ケーブル</p> <p>5C-FL 5C-HFL 5C-FB</p> </div>	コネクタ構造図
② 組立	<p>作業手順は5C-FBケーブルを示す。</p> <p>1.コネクタの締付金具を使用ケーブルに挿入します。</p>	
	<p>ケーブル端末加工</p> <p>1. 右記、寸法になる様ナイフで端末加工します。</p> <p>2. スケールで寸法確認します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>注意：中心導体、編組(外部導体)に傷をつけない様にして下さい。</p> <p>※ 5C-FL・HFLケーブルは編組がありません。</p> </div>	
	<p>3. 切り取った後、編組をほぐします。</p> <p>4. 編組をシースの上に折り返し1mmに切りそろえます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>注意：ケーブルの端面に切り屑が残らない様にして下さい。</p> <p>※ 5C-FL・HFLケーブルは編組がありません。</p> </div>	
③ 取付	<p>1.ケーブルのアルミ箔と編組のあいだにフェルル組立品を入れA部まで挿入します。 (5C-FL・HFLケーブルの場合は絶縁体とアルミ箔の間に挿入します。フレア工具等を使用して隙間をもうけてから挿入して下さい。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>注意：編組を押込まないように注意してください。</p> </div> <p>2.ケーブルの中心導体が中心コンタクトののぞき穴から見えることを確認します。</p> <p>3.挿入後、中心コンタクトの太い部分を圧着工具 (KCT-57) の2,3部でカシメます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>注意：圧着後、中心コンタクトが抜けないう確認してください。</p> </div>	
	<p>1. 中心コンタクトを曲げないようにコネクタ本体をフェルル組立品 (B部) に挿入し、締付金具を手で仮締めします。</p> <p>2. 締付金具をスパナで固定し、8.0N・m(80kg・cm) のトルクレンチで本体を確実に締付けます。</p>	
	<p>※ コネクタを機器に接続する場合は、規定のトルクレンチを使用して締付けて下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> <p><b>標準締付トルク : 2.0N・m(20Kgf・cm)</b></p> </div>	